

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p>	
<p>2025年 月 日</p>	
<p>大阪府知事 殿 (大阪府泉州農と緑の総合事務所長)</p>	
<p>提出者 住 所 大阪府泉佐野市鶴原4丁目10-20 氏 名 神鋼鋼線ステンレス株式会社 取締役社長 朝見 弘志 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-462-3001</p>	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	神鋼鋼線ステンレス株式会社
事業場の所在地	大阪府泉佐野市鶴原4丁目10-20
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	22：鉄鋼業
②事業の規模	製造品出荷額： 983百万円
③従業員数	49名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料「産業廃棄物発生工程フロー」を参照。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「添付資料 管理体制図及び各部署の役割」を参照。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	排出量	1515 t	18.22 t
	(これまでに実施した取組) 排水処理設備の保守、メンテナンスを行い、汚水の脱水効率を高く維持した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	排出量	1469 t	17.67 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き排水処理設備の修繕及び更新を行い、汚泥の脱水効率を高める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、廃油、無機性汚泥、金属くずは、それぞれ分別保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状に引き続き、継続して分別保管を行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
22.91 t	0.35 t	9.01 t	360.4 t
【目標】			
③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
22.22 t	0.34 t	8.74 t	349.6 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑦無機性汚泥 I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
3.29 t	5.70 t	0.36 t	0.58 t
【目標】			
⑦無機性汚泥 I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
3.1913 t	5.53 t	0 t	0.56 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
①安定型建設混合廃棄物B	②廃プラスチック類B	③安定型建設混合廃棄物A	④安定型建設混合廃棄物B
3.88 t	9.59 t	0.16 t	0.75 t
【目標】			
①安定型建設混合廃棄物	②廃プラスチック類B	③安定型建設混合廃棄物	④安定型建設混合廃棄物
3.76 t	9.30 t	0.15 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
7.35 t	1.88 t	4.50 t	1.69 t
【目標】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
7.12 t	1.82 t	4.37 t	1.64 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
3.71 t	0.27 t	2.25 t	t
【目標】			
⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
3.60 t	0 t	2.18 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1278 t	－ t
(これまでに実施した取組) 排水処理設備の保守、メンテナンスを行い、汚水の脱水効率を高く維持した。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1240 t	－ t
(今後実施する予定の取組) 引き続き排水処理設備の修繕及び更新を行い、汚泥の脱水効率を高める。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	304.2 t
【目標】			
③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	293.4 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑦無機性汚泥I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
⑦無機性汚泥I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑦無機性汚泥I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
⑦無機性汚泥I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

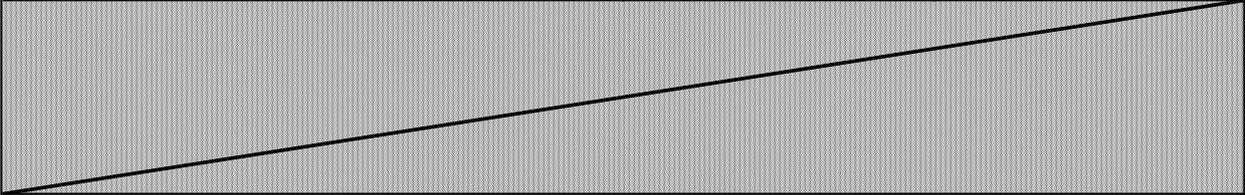
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
①安定型建設混合廃棄物B	⑫廃プラスチック類B	⑬安定型建設混合廃棄物A	⑭安定型建設混合廃棄物B
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
①安定型建設混合廃棄物	⑫廃プラスチック類B	⑬安定型建設混合廃棄物	⑭安定型建設混合廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
①安定型建設混合廃棄物B	⑫廃プラスチック類B	⑬安定型建設混合廃棄物A	⑭安定型建設混合廃棄物B
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
①安定型建設混合廃棄物	⑫廃プラスチック類B	⑬安定型建設混合廃棄物	⑭安定型建設混合廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

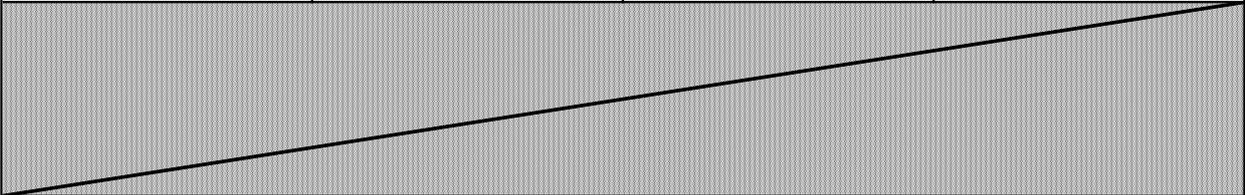
【前年度（2024年度）実績】

⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
－ t	－ t	－ t	－ t



【目標】

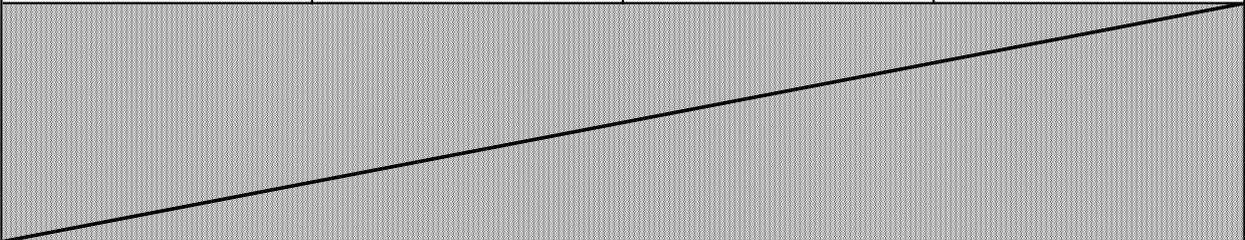
⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
－ t	－ t	－ t	－ t



自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

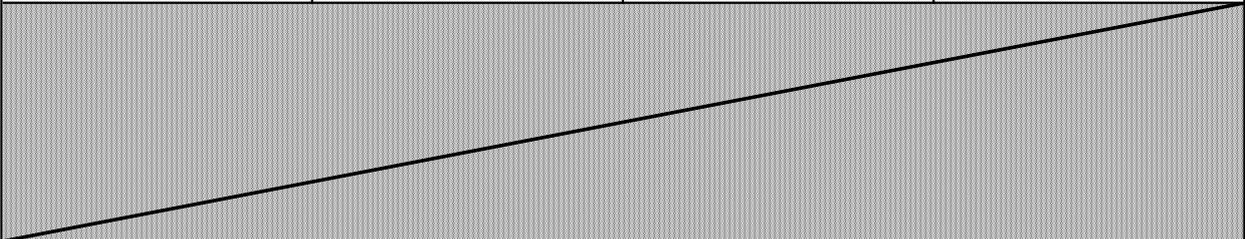
【前年度（2024年度）実績】

⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
－ t	－ t	－ t	t
－ t	－ t	－ t	t



【目標】

⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
－ t	－ t	－ t	t
－ t	－ t	－ t	t



(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

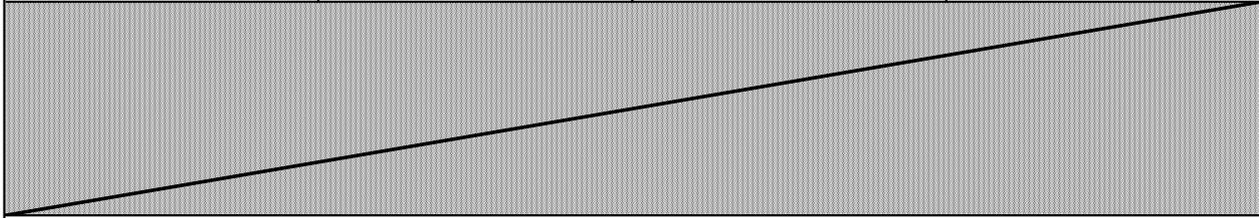
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	全処理委託量	236.3 t	18.22 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	18.22 t
	再生利用業者への 処理委託量	－ t	18.22 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組) 大阪府が公開している優良認定処理業者をチェックし、処理を委託した。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

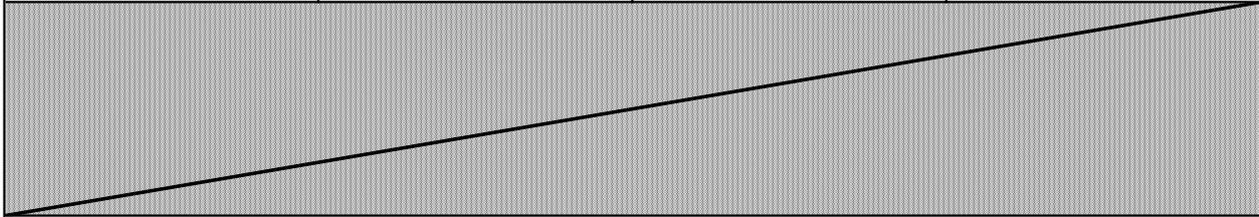
【前年度（2024年度）実績】

③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
－ t	－ t	－ t	－ t



【目標】

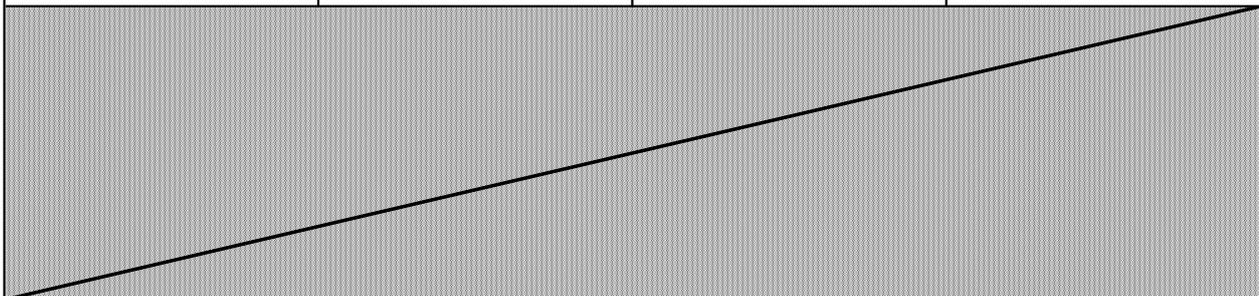
③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
－ t	－ t	－ t	－ t



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2024年度）実績】

③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
22.91 t	0.35 t	9.01 t	56.23 t
22.91 t	0.35 t	9.01 t	56.23 t
22.91 t	0.35 t	－ t	56.23 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

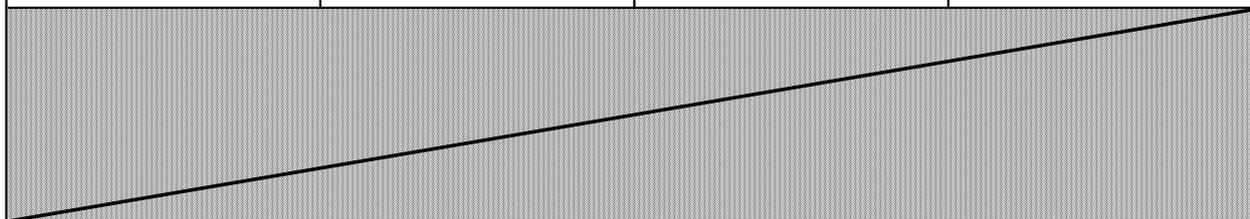


(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

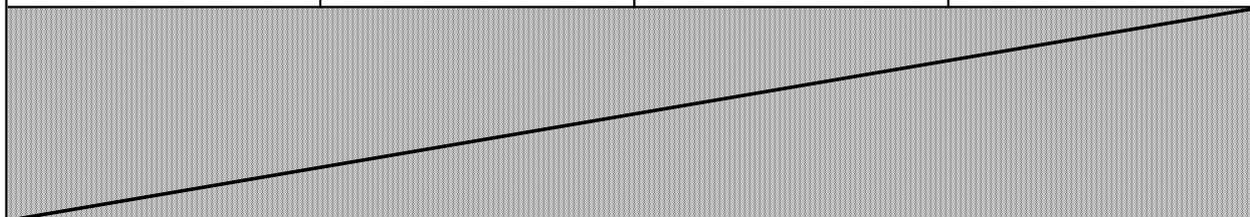
【前年度（2024年度）実績】

⑦無機性汚泥I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
— t	— t	— t	— t



【目標】

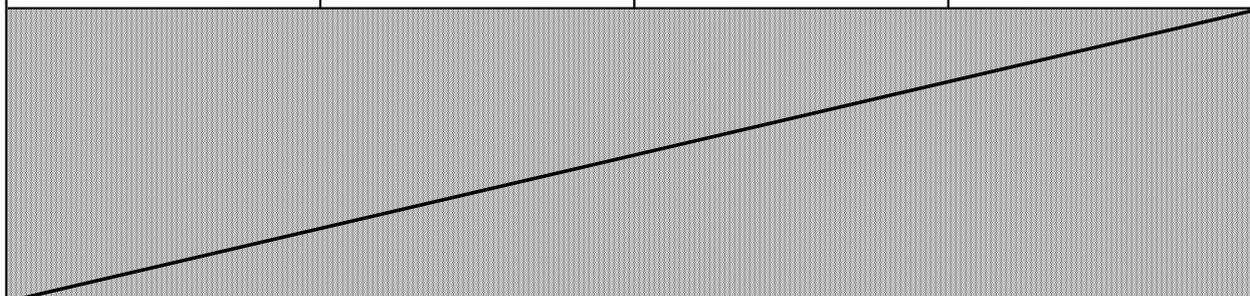
⑦無機性汚泥I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
— t	— t	— t	— t



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2024年度）実績】

⑦無機性汚泥I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
3.29 t	5.70 t	0.36 t	0.58 t
3.29 t	5.70 t	0.36 t	— t
3.29 t	5.70 t	0.36 t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
①安定型建設混合廃棄物B	②廃プラスチック類B	③安定型建設混合廃棄物A	④安定型建設混合廃棄物B
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
①安定型建設混合廃棄物	②廃プラスチック類B	③安定型建設混合廃棄物	④安定型建設混合廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
①安定型建設混合廃棄物B	②廃プラスチック類B	③安定型建設混合廃棄物A	④安定型建設混合廃棄物B
3.88 t	9.59 t	0.16 t	0.75 t
3.88 t	－ t	0.16 t	0.75 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

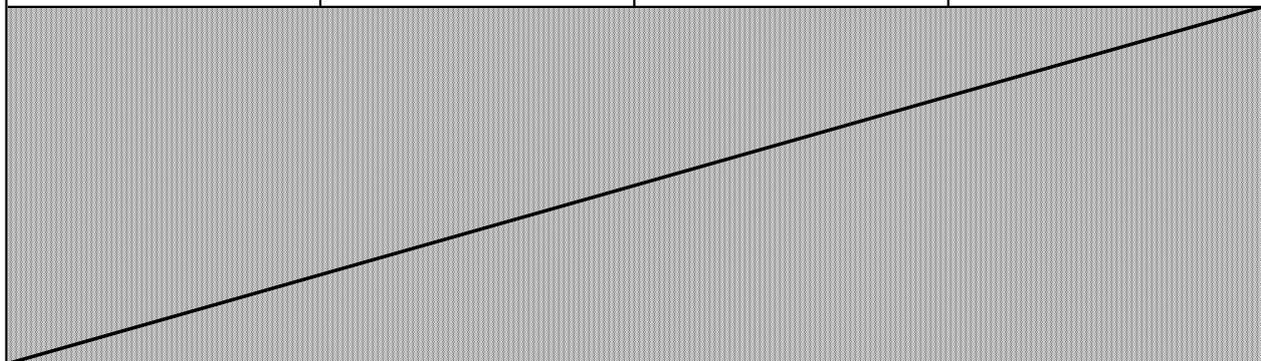
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
7.35 t	1.88 t	4.5 t	1.69 t
7.35 t	－ t	－ t	1.69 t
－ t	1.88 t	4.5 t	－ t
－ t	－ t	－ t	1.69 t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

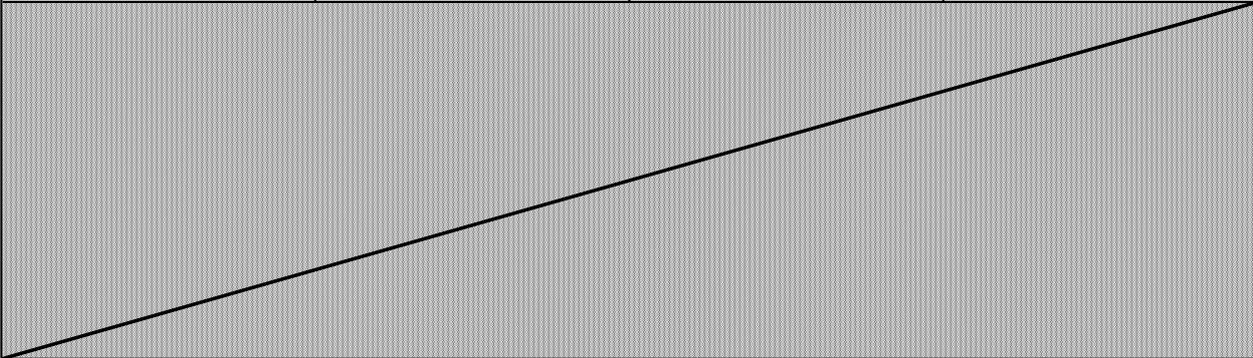
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
－ t	－ t	－ t	t
【目標】			
⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
－ t	－ t	－ t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2024年度）実績】			
⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類（石綿含有）	
3.71 t	0.27 t	2.25 t	t
0 t	－ t	2.25 t	t
－ t	0.27 t	－ t	t
－ t	－ t	－ t	t
－ t	－ t	－ t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥A	②無機性汚泥B
	全処理委託量	229.2 t	17.67 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	17.67 t
	再生利用業者への処理委託量	— t	17.67 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
<p>(今後実施する予定の取組) 引き続き優良認定業者を大阪府の公開データからチェックし、処理を委託していく。</p>			
※事務処理欄			

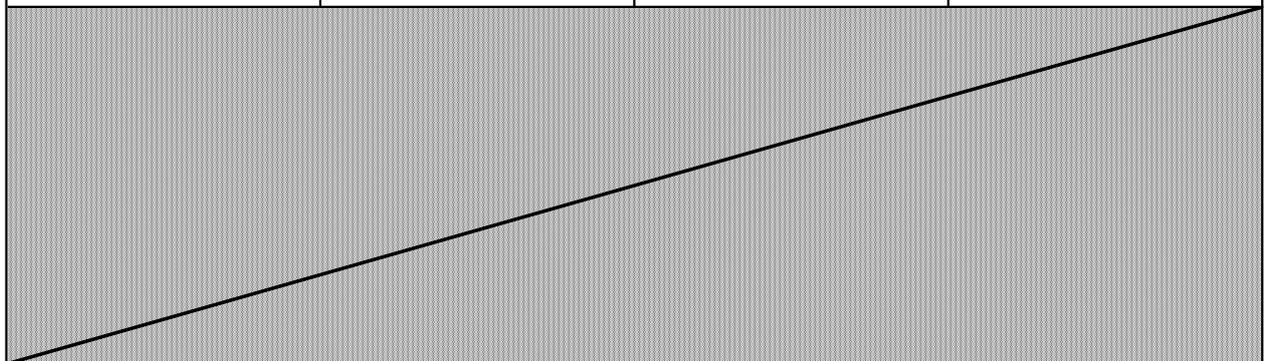
【目標】			
③無機性汚泥C	④無機性汚泥E	⑤無機性汚泥F	⑥無機性汚泥H
22.22 t	0.34 t	8.74 t	56.23 t
22.22 t	0.34 t	8.74 t	54.54 t
22.22 t	0.34 t	— t	54.54 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



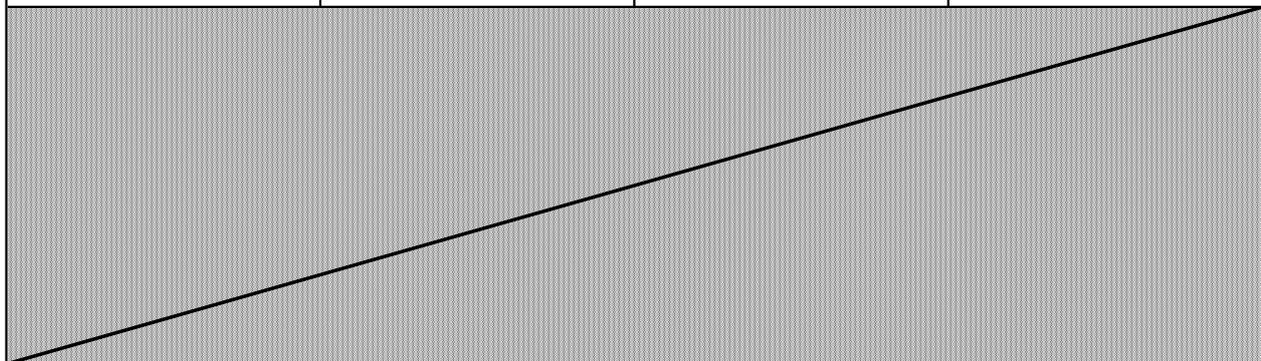
【目標】			
⑦無機性汚泥 I	⑧無機性汚泥M	⑨無機性汚泥N	⑩有機性汚泥
3.1913 t	5.53 t	— t	0.56 t
0 t	5.53 t	0 t	— t
3.19 t	5.53 t	0 t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



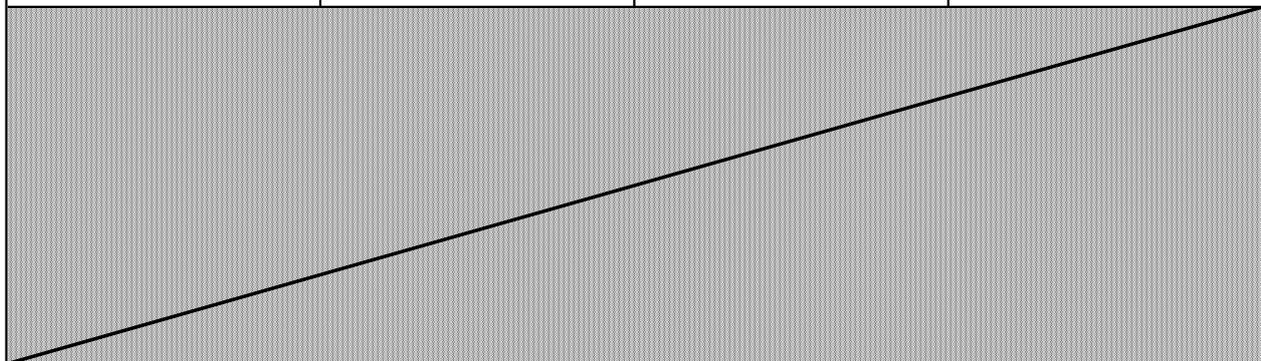
【目標】			
①安定型建設混合廃棄物	②廃プラスチック類B	③安定型建設混合廃棄物	④安定型建設混合廃棄物
3.76 t	9.30 t	0.15 t	- t
3.76 t	- t	0.15 t	0 t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t



【目標】			
⑮金属くずA	⑯金属くずB	⑰金属くずC	⑱木くず
7.12 t	1.82 t	4.37 t	1.64 t
7.12 t	— t	— t	1.64 t
— t	1.82 t	4.37 t	— t
— t	— t	— t	1.64 t
— t	— t	— t	— t



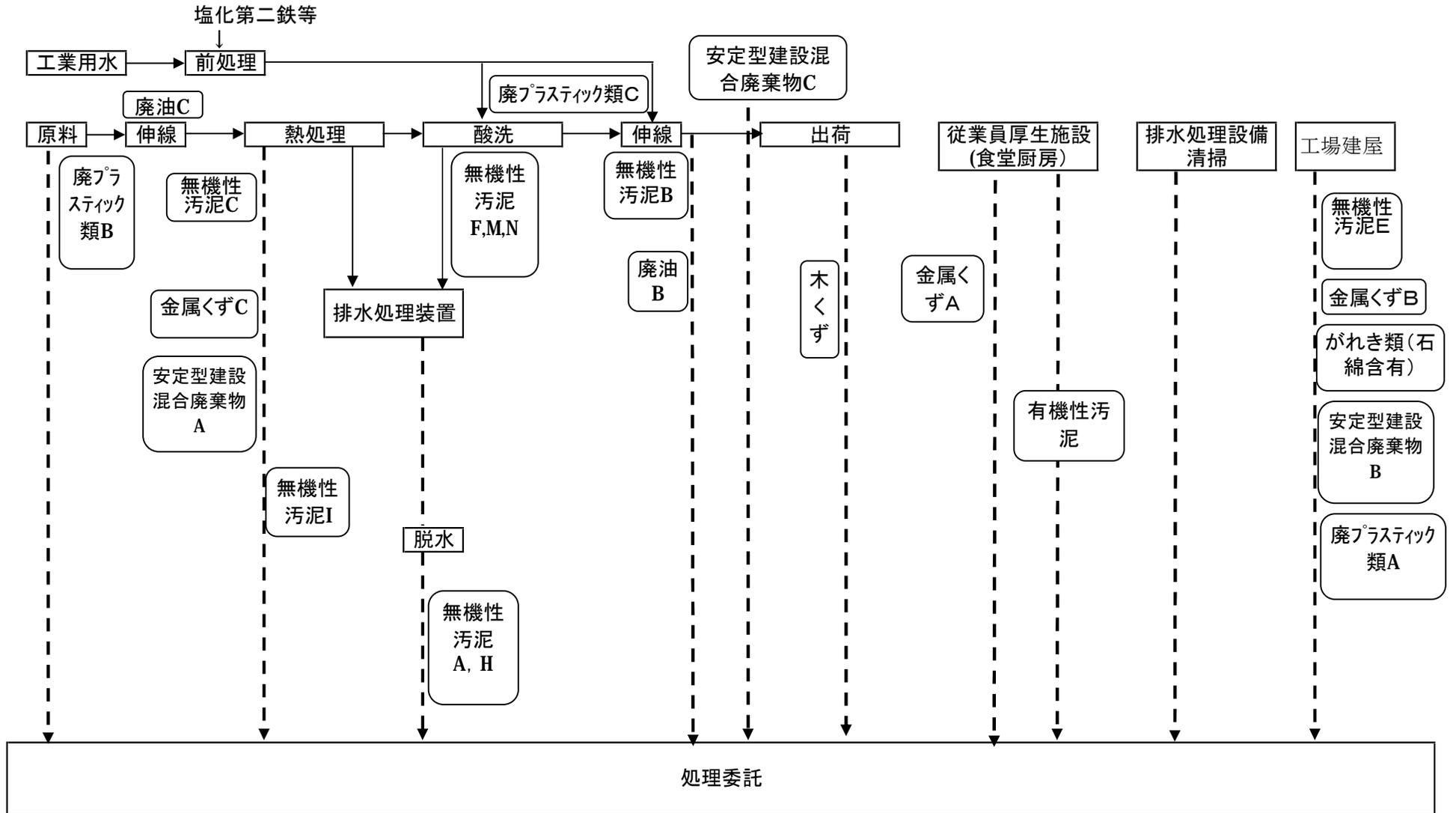
【目標】			
⑱廃油B	⑳廃油C	㉑がれき類 (石綿含有)	
3.60 t	— t	2.18 t	t
0 t	— t	2.18 t	t
— t	— t	— t	t
— t	0 t	— t	t
— t	— t	— t	t



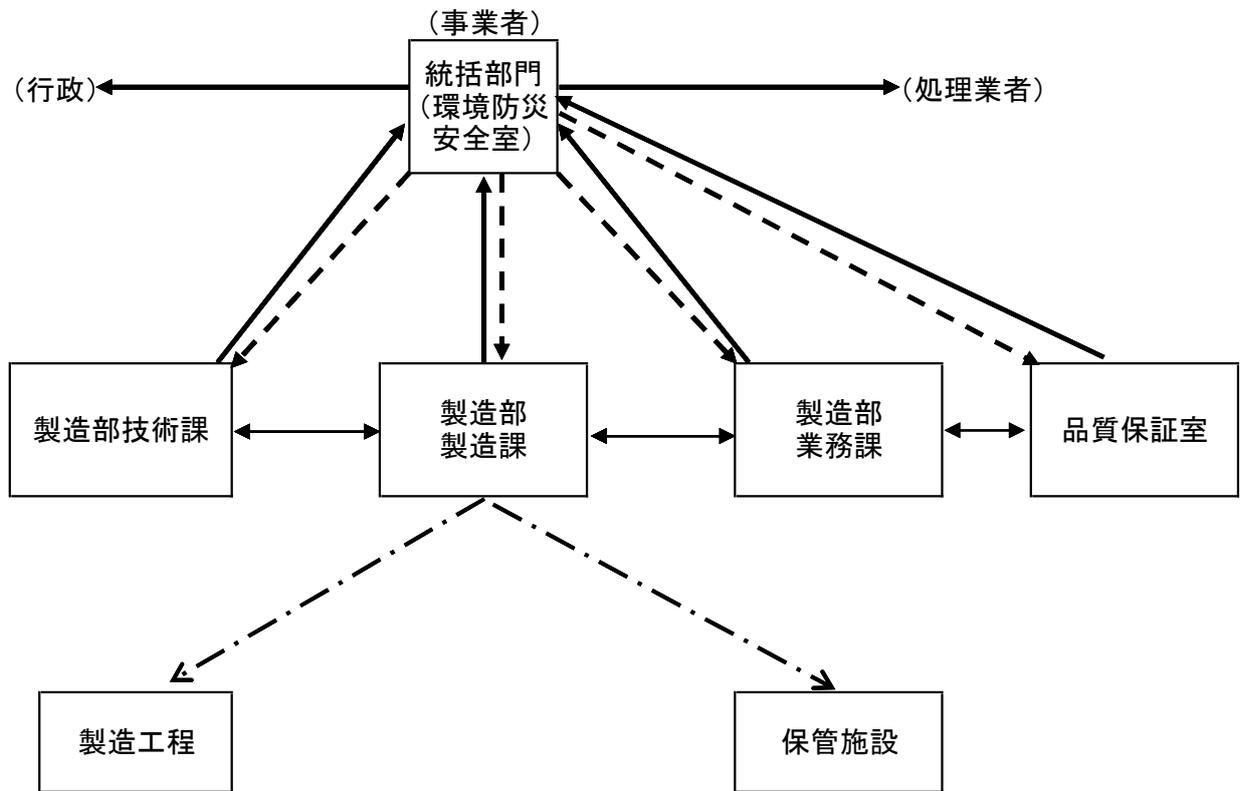
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付資料「産業廃棄物発生工程フロー」



添付資料 管理体制図及び各部署の役割
 [管理体制図]



—————→ 報 告

-----→ 指 示

←———— 相互連絡

- · - · - · - · - · - · → 指 示

〔各部署の役割〕

<p>統括部門 (環境防災安全室)【A】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 ・産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・処分業者の定期的査察 ・行政に対する報告等 ・処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 ・産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 ・各部署間の調整及び指示 ・廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施 ・産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定。
<p>製造部 製造課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・各現場の施設の維持管理点検等 ・保管施設での保管量の把握、記録の作成等 ・最終処分場の稼働状況の把握、記録の作成等 ・上記内容を【A】に報告
<p>製造部 技術課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工程の研究開発 ・産業廃棄物処理技術の研究開発 ・産業廃棄物減量化手法の調査研究 ・上記内容を【A】に報告
<p>製造部 業務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理費用の算出 ・委託料金の支払方法による業者管理 ・上記内容を【A】に報告
<p>品質保証室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理 ・上記内容を【A】に報告